

山の日情報

(第 23 号)

令和元年10月 9日

秋 田 県 生 活 環 境 部
自 然 保 護 課

【活 動 記 録】

9月14日に神室山において、今年3回目のボランティアによる整備作業を行いました。1回目、2回目の作業は避難小屋の外壁塗装でしたが、今回は登山道（パノラマコース）の整備作業です。湯沢山岳会の皆さんが先に刈り払いを行ってくださったため、刈り払われた草を脇に寄せ、登山道を歩きやすく整える作業を行いました。

今回の作業には、横手高校山岳部、増田高校山岳部、湯沢山岳会など合計で34名の方々にご参加いただきました。

人数が十分そろっていたため、今回は次のような作戦としました。

- 高校生中心のAグループは、パノラマコースの第2ピークまで登り、下り方向に作業する。
- 社会人中心のBグループは、いっぷく平から登り方向に作業する。
- 2つのグループが合流したところで作業終了。

この日は気温が高く日差しも強いという、夏に近いお天気。「9月も半ばだし、少しは涼しくて登りやすくなっているかな」という淡い希望は見事に打ち砕かれました。おまけに、作業場所であるパノラマコースはきつめの傾斜も多く、移動中には大粒の汗が次々に吹き出します。「パノラマコースは下りに使われることが多いコース」だと教えてもらいましたが、それも納得です。

作業場所に着いたら、ストックや太い木の枝を使って刈られた草を脇に払っていき、歩く部分をきれいにしていきます。長さのある草は手で持って脇に寄せていきます。

作業をしながら時折後ろ（作業が終わった場所）を振り返ると、見違えるようにきれいになり、これなら歩きやすそうだな、という道になっていました。帰りが楽しみです。

これだけの人数でテキパキと作業を進められたため、お昼前には2つのグループが合流でき、昼食となりました。



↑きつい登りもスイスイ
登る高校生たち



↑作業の様子

昼食後に下山を開始すると…やっぱり歩きやすい！

登っているときは刈られた草が道に残っていたため、場所によっては滑ったり、足をとられたりすることもありましたが、下山時はそうしたことがなくなり、格段に歩きやすく感じます。下りは足にかかる負担も大きいいため、これは嬉しい変化です。

今回は自分たちで行った作業の効果をすぐに実感できた、貴重な機会となったのではないのでしょうか。

最後になりましたが、今回の作業に先立ち、パノラマコースの刈り払いを行ってくださった湯沢山岳会の皆様に感謝申し上げます。おかげさまで、当日はスムーズに作業を進めることができました。



↑ 大きな草は手で寄せる

神室山に限らず、多くの登山道では地元の方々などが刈り払い作業を行い、歩きやすく整備してくださっています。これから登山をする際には、ぜひそういった方々の存在にも思いを馳せ、感謝の気持ちを胸に登山道を歩いてみてください。

(参 加 者 の 声)

今回のボランティア活動は、神室山パノラマコースにて登山道整備を行いました。高校生は第2ピークまで登り、そこから下りながら刈り払い後の草寄せを行いました。その後、作業しながら登ってきた社会人チームと第1ピークにて合流し、昼食をとり下山しました。

神室山は大会で使われないコースで、ほとんど登る機会がない山でしたが、今まで登ってきた山々にも劣らない景色を味わうことができました。特に秋のよく晴れた日であったため、色づき始めた木々や高山植物の花、遠くに見える高松岳や虎毛山、栗駒山を望むことができ、感動しました。神室山は古くから修験の山であり、実際に登ってその厳しさを体感することができましたが、だからこそボランティア活動を通して普段登っている山の整備のありがたさを身をもって知ることができました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

(横手高校山岳部 五十嵐 凜さん)

